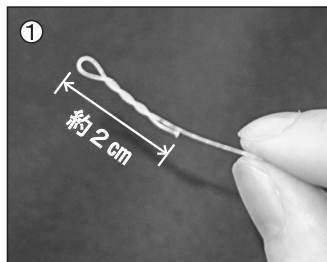
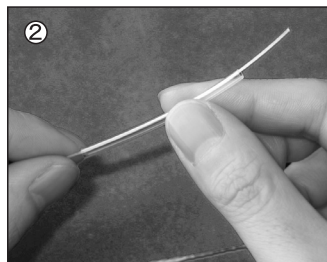


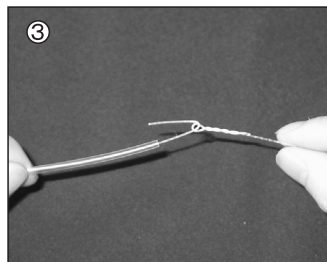
テクノロートのつなぎ方



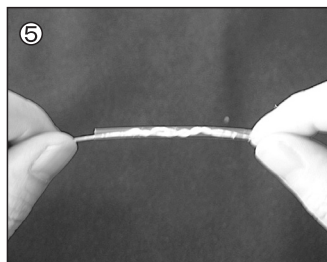
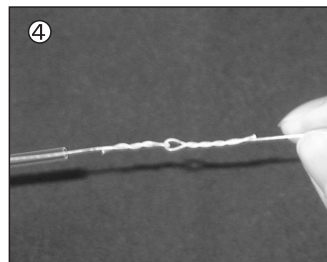
① まずテクノロートを端から2 cm前後の所で折り曲げ、数回ねじります。



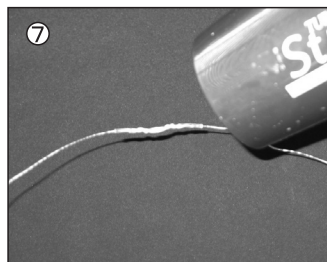
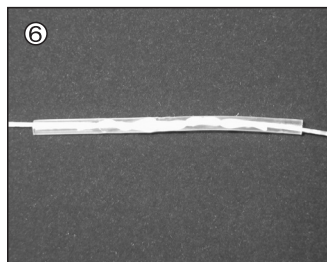
② もう一方のテクノロートに熱収縮チューブ(以後:チューブ)を通しておきます。
※チューブは約5 cmにカットします。



③～④ ①と同様に端から2 cm前後の所で折り曲げ、①でできた輪の中に通し、数回ねじります。



⑤～⑥ テクノロートをねじった部分にチューブをずらし、ねじった部分を全て覆うようにチューブをかぶせます。

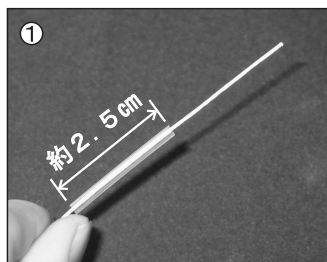


⑦ ドライヤーでチューブ全体を加熱し、収縮させます。

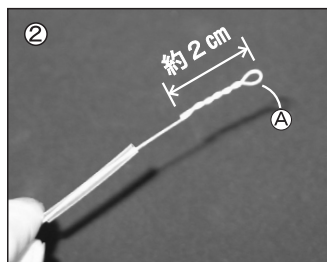
[ドライヤーをあてる時の注意]

- (1) 加熱時間は1分程度が目安ですがドライヤーの温度により、多少異なります。
- (2) チューブが収縮しない場合は、ドライヤーを近づけて下さい。(近づけすぎにご注意下さい)
- (3) ドライヤーを長時間あてたり、近づけ過ぎると、チューブだけでなくテクノロートも溶けてしまう可能性がありますので、様子を見ながらあてるようにして下さい。

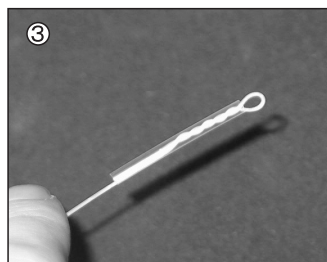
テクノロートの編みくるみ始めと終わりの始末



① あらかじめテクノロートにチューブを通しておきます。
※チューブは約2.5 cmにカットします。

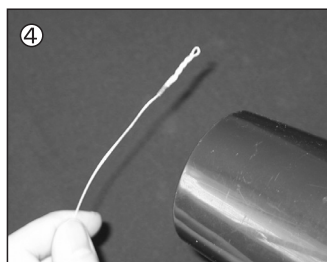


② テクノロートの端から2 cm前後の所で折り曲げ、数回ねじります。この時ねじって作った輪(A)は、かぎ針の頭が入る程度の大きさにしておきます。

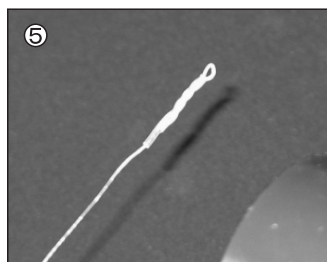


③ テクノロートをねじって作った輪の手前まで、チューブをずらし

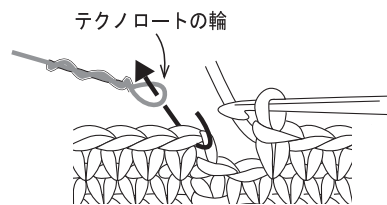
※熱収縮チューブが折れても、品質上問題はありません。



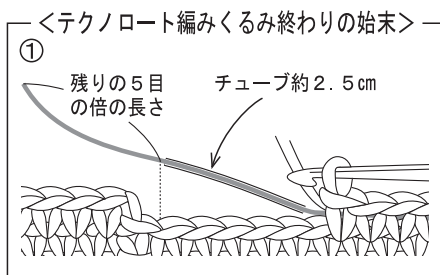
④～⑤ ドライヤーでチューブ全体を加熱し、収縮させます。
※チューブが収縮しない場合は、さらにドライヤーを近づけて下さい。



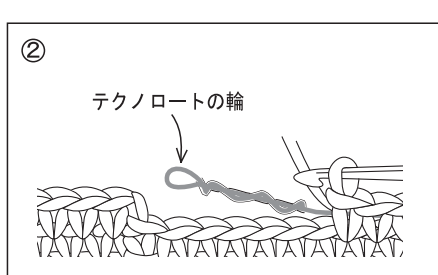
<テクノロート編みくるみ始め>



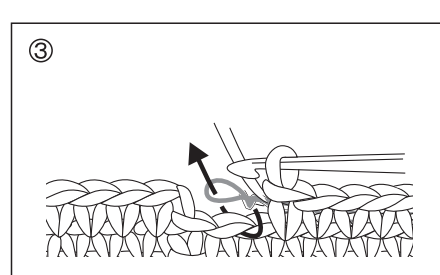
テクノロートを編みくるみ始める段は、段の編み始めの目とテクノロートの輪に針を入れて、編み始めます。



① 編み終わりの5目ほど手前まで編んだら、帽子の形をざっと整えて、テクノロートのカットする長さを測り、カットします。(※残りの5目の倍の長さ)
この時点でチューブ約2.5 cmを通します。



② 上記の②～⑤を参照し、チューブを収縮させて、テクノロートの輪を作ります。



③ 前段の最終目とテクノロートの輪に針を入れて段の最後の細編みを編みます。
編み始めの目に引き抜き(又はチェーンつなぎ)をして、糸端の始末をします。